

元高砂市議 緑の党グリーンズジャパン会員



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:ioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」  
でweb検索を

# 井奥まさきの市政ニュース

2014. 7 (月刊+ : 7月上旬 2 通算 88号)

## まちづくり 空き家対策・大型車通行…実態を知り、ルールづくりや誘導政策の実施を



### 実態を聞く市長と語る会の復活を

地域をまわっていると行政への不満を聞きます。「せっかく市に言っても『できない』とばかり言われる」「県や国の仕事と言われてラチがあかない」と。

私はまず公開の場で市の課題を議論ができる「市長と語る会」の復活が必要と思っています。登市長は廃止してしまいましたが、加古川新市長の岡田氏は以前の高砂市のような「誰でも参加できる」方式を公約に掲げています。高砂市はせっかくの先進施策を復活すべきです。

### 「できない」から「見える」化へ

以前「市ではできない」だけの回答ですませていたことも、先進事例を見れば解決策があった場合があります。例えば、空き家や放置家屋の対策。「個人に注意するがどうしようもない」という市の回答でしたが、各地で空き家条例を策定する動きが出ています。

曾根南部の砂山への苦情も最終撤去の前に条例づくりや業者への指導など方法はありました。

また、せめて必要な課題では担当の県や国に市から要望を行い、その要望文書を公開するなど市の動きの「見える化」が必要です。

### 大型車の通行も自主ルールを

山陽電車荒井駅の事故や6月

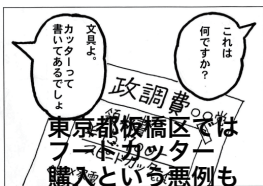
### 元高砂市議 井奥まさき

10日にも荒井町東本町の交差点で死亡事故があった大型車通行問題。ここでも「見える」対策が必要です。信号や通行規制など県の警察が担当の部分が多いのですが、市でもやれることもあります。

まずは市から県への要望です。危険交差点での歩行者と車の分離信号など提案が必要です。次に自主ルールです。大型車の圧倒的多数は浜手の企業に出入りする業者です。通行実態を把握して、企業の協力で自主規制で安全な通行方法を誘導する政策が必要です。例えば4車線の道路では必ず真ん中のレーンを走行するなどの方法が考えられます。「できない」から「少しでも前進」へ変えたいですね。

### 政務調査費

#### 市役所も市議会も改革①



西宮選出の県議で話題になった「政務調査費」ですが、高砂市議会にも存在します。しかし、月額2万5000円で領収書添付も定められていま

### 話題の政務調査費 高砂市議会はネット公開し、市民審査も

す。県議会とは違い、各議員の使用方法も議会活動に役立つ視察や学習会費などに使われていると信じています。しかし、こうした全国的な注目を集める状況です。先進事例にもとづき、「ネットでの公開」を考える時期に来ているの

ではないでしょうか。領収書すべての公開が一番理想ですが、まずはすぐにも「大きな項目ごとの支出状況」を公開すべきです。他にも堺市の資産公開条例のような「市民審査」制度も先進的に導入すべきと考えます。

### 集団的自衛権 解釈変更

### まずは声を上げ、地域から平和づくりを

緑の党+井奥まさき

7月1日の集団的自衛権（交戦権）の憲法解釈変更について、緑の党系の学者は「セルフクーデター」と表現しました。権力者を縛る憲法を自ら覆して無効にする行動だからです。緑の党は声明を出し、かつ今後も「法制化」などのタイミングで粘り強く反対の声を上げて行く事を宣言しました。

他の課題ともあわせて総合的に議員が選ばれる選挙だけでは民主主義は不十分です。個別の課題で街頭や住民投票などできちんと市民の声をあげることは重要です。

それに加え、地域から実践を積み重ねることも必要です。多文化共生地域に若者が「殺せ」などと叫んで押し寄せるヘイトスピーチ

や本屋にあふれかえる「嫌」や「反」の本、そしてネットで氾濫する隣人を罵倒する言葉。こうした時代の雰囲気安倍内閣の暴走を許したのだと思います。批判の声をあげつつ、地道に地域から平和の機運を高める実践も重要です。多文化共生・平和の伝統のある高砂市から実践したいものです。

●緑の党の政策を紹介します。

東京都は地球温暖化防止政策を進めるために「実態調査」「各企業の自主計画づくり」「条例化」という段階を踏んで丁寧に政策を進めました。

政務調査費（現在は政務活動費）の実績について私は情報公開請求を行いました。市民の視点からのチェックが腐敗を防止します

# 子育て日記 「あるある」ものの男の子カルタと息子の俳句？

「緑の党って何？」

緑の党説明会

八月九日

(土)

一五時

井奥まさき臨時事務所(兼

緑の党ひょうご臨時事務所)にて



Twitter で集まった「男の子カルタ」インターネットで発見した男の子に関する爆笑もののカルタです。保護者の苦勞が出ています。

- 【あ】朝 送り出すだけで重労働
- 【い】 いらぬゴミに見えても宝物
- 【か】 傘は消耗品

## 成長はするんだけど…

子どもの成長は素晴らしいです。特に赤ちゃん時期は月単位で劇的に変わります。その後も年単位では確実に背も知識も変化します。顔つきも赤ちゃん時期と保育園・幼稚園や小学生、中学生と全然違ってきます。大人は一年単位ではそんなに変わらないのに、びっくりします。

しかし、変わらないのは馬鹿げた行動でしょうか。一般的に男の子は幼いままのように見えます。

## カルタに対抗した息子の俳句？

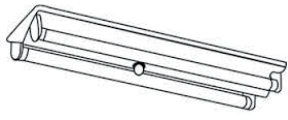
カルタを読み上げて、そんな話をしていると息子は気に入らないようで、対抗したのか、紙を持ってきて俳句を大量にひねり出します。まったく反撃になっていないとは思いますが、これまた面白いので紹介します。

「ごはんをね たべすぎないでね だいえっと」「つゆなりに つられていれば さわやかに」

まあ、これからもいろんな行動で笑わせてください。

## 省電力

## エネルギー産業で仕事づくり⑥省電力の電灯、電灯ごとのスイッチ…照明は工夫の余地あり



節電というと「冷房を止めてガマン」という苦しいイメージがありますが、現在の生活の質を落とす事なくできる節電はたくさんあります。電力節約によって経費も少なく済む経済的なメリットもあります。

また、夏のピーク時(昼2時頃)

の消費電力の大部分は家庭用ではなく、産業用です。その中で照明が占める割合も多いのです。ピーク時電力を減らせば原発や火力発電依存がなくなるのです。

例えば奈良県大和郡山市では熱心な職員のもと、以下のような対策をしています。①反射板を入れて少ない照明でも明るく②高いLEDよりコストパフォーマンス

がいいHF型蛍光灯を導入③電灯ごとのスイッチで明るさ調整

これらを説明板で省電力実績を知らせています。例えば旧型だと4灯で100Wだったのが、2灯で46Wで同等の明るさを確保しているといった表示などです。

進んだ民間事例の交流も含め、高砂市は「トクする省電力」で最先端の自治体をめざしましょう。

## 幼稚園など

## 子ども子育て日本一に②幼稚園の2時以降の預かり保育、保育園の7時までなど対応を

保育園や幼稚園に通うようになると「お迎え」は保護者の大きな負担となります。高砂市の幼稚園は2時まで、公立保育園・学童が6時までというのは他の自治体に比べても短い方です。

例えば幼稚園では「預かり保育」という制度を導入している自治体が全国では4割以上あります。(平成17年度調べ)

高砂市は未実施です。「働いている人は保育園がある」という理由だったと思います。しかし、保護者の親が近くにいない人が増え、パートで働いている人も増えています。下の子どもの関係などもあり、「必ず」2時の迎えは負担感があります。

また、2015年の子ども制度大

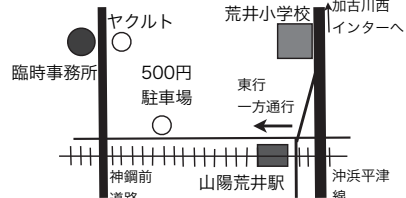
改革で幼稚園の位置づけも変わります。特に3歳からの入園は必然となりますので今までと違った対応が必要です。消費税10%を前提にですが、財源も予定されています。保育園・学童保育の7時まで時間延長もあわせて「財源増を適切なサービス増へ」つなげる高砂市の方針が必要だと思います。

●このニュース作成者 井奥まさきはこんな人

□井奥まさきプロフィール 1965年生まれ。48才。伊保小学校から淳心学院中・高校をへて岡山大学法学部へ。国際交流団体ピースボートや国会議員秘書などをへて、高砂市議3期11年間。家族は妻と子ども二人。荒井町新浜在住。母は幼稚園教諭、父(故人)は山陽電車勤務。

## 臨時事務所開設します(7月27日～9月まで)

住所: 高砂市荒井町御旅 1-5-6



- 臨時事務所開設イベント 7月27日(日) 14時～
- 緑の党説明会 8月10日(土) 15時～

■広告 家庭教師 079-442-3438 河田寛人 早稲田大学政経学部卒業 中学受験の国語も教えます 合格実績: 淳心中、滝川中、啓明学院高、加古川東高、筑波大学など 朝6時～夜10時、土日可

「電気をカエル計画」という市民団体では省電力や電力自由化の情報を集めて行政や企業に発信しています。ウェブをぜひご覧ください。